

2021年度 Safe Kids Japan 事業報告書



2020年度事業報告

1 子どもの事故予防に関する啓発活動

1) 講座運営

- ・合同学習会「子どもの発達と遊具の可能性」
- ・小学生向け安全授業：善通寺市の小学5年生対象

※「子どもの傷害予防リーダー養成講座（神奈川県厚木市児童館職員対象）」および「小・中学生向けサッカーゴール転倒予防事業（東京都町田市）」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

2) 資料作成

- ・ミニトマトとぶどうのシール「4才までは4つに切って」
- ・子どもの傷害予防カレンダー 2021

3) 講演、講座等

- ・ウェブサイトにおける記事の連載等
- ・Udemyにおける講座の配信
- ・学会、講演会等における講演活動

4) シンポジウムの運営

- ・「これで防げる 学校体育・スポーツ事故
安全なサッカー・ヘディングの指導で関連事故から子どもを守る」開催

5) 取材対応・協力



1-1) ①合同学習会「子どもの発達と遊具の可能性」



子どもの安全研究グループ・Safe Kids Japan 合同学習会 Vol.1

子どもの発達と遊具の可能性

子どもや子育てに関わる人にとって欠かせない「遊具」。公園や保育園、幼稚園に設置されている身近なものです。遊具とは何か、遊具は子どもの発達にどのような影響を及ぼすのか、といったことを考える機会はありませんか。この学習会では、遊具のベネフィット（恩恵）や可能性について学ぶと共に、遊具による重大な傷害（けが）を予防するための考え方についても学びます。

日 時：2021年2月20日(土) 14:00-16:30（入室開始 13:30）

形 式：Zoomによるオンライン形式

共 催：日本技術士会登録 子どもの安全研究グループ

NPO 法人 Safe Kids Japan

消費者庁

プログラム

1) 合同学習会開催にあたって

瀬戸 馨（技術士、日本技術士会登録 子どもの安全研究グループ 会長）

2) 遊具の可能性～ベネフィットの視点から

弘永 元（RPII 国際遊び場検査士機構 - 精密点検検査士、(株) アネビー）

～ 休憩 ～

3) 保育園の「楽しくて安全な遊具」とは

松野 敬子（社会安全分野学術博士、保育園園長）

4) 「Guide50」（子どもの傷害を予防するための基本安全規格）で考える遊具の安全

森山 哲（技術士、労働安全コンサルタント、子どもの安全研究グループ 会員）

5) 遊具を取り巻く最近の動き

西田 佳史（東京工業大学教授、Safe Kids Japan 理事）

6) おわりに

山中 龍宏（小児科医、緑園こどもクリニック院長、Safe Kids Japan 理事長）

開催日時：2021年2月20日(土) 14:00-16:50

開催形式：Zoomによるオンライン形式

申込者数：190人

当日参加者数：180人

アンケート回答者数：64人



1-1) ①合同学習会「子どもの発達と遊具の可能性」

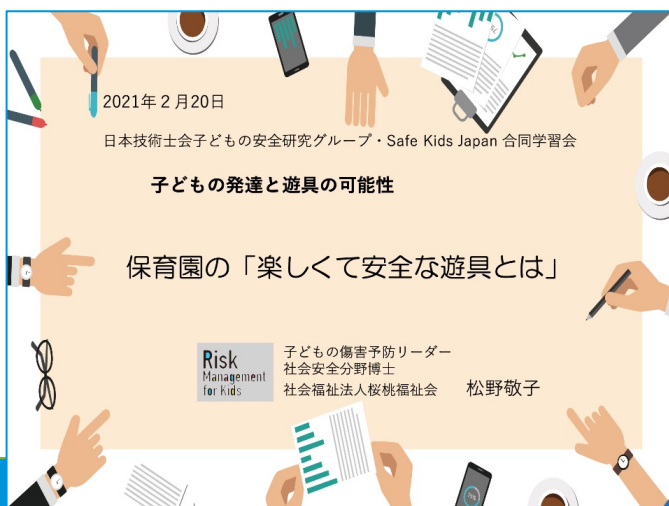


Guide 50

子どもの傷害を予防するための 基本安全規格で考える遊具の安全

日本技術士会 登録
子どもの安全研究グループ
森山 哲

技術士（電気電子部門）、労働安全コンサルタント、博士（工学）
（一社）安全技術普及会、理事長
SKJ会員、監事



最近のトピック

- 2020/12/25 水上設置遊具の安全に関するガイドライン
 - 2016年「商業施設内の遊戯施設の安全に関するガイドライン」に対して、水上設置遊具に関する留意点を拡張するガイドライン
- 2020/12/21 子どもの安全に配慮したチェストに関するJIS（ガイド50（JIS Z 8150）やJIS Z 8150に基づく規格）
- 2021/3（予定）日本スポーツ振興センターの固定遊具の事故および対策に関する報告書



1-1) ②小学生向け安全授業



2020
12 09

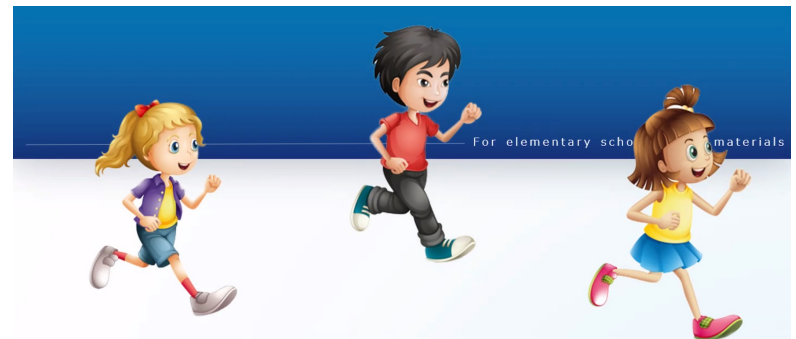
水曜日



学校の「あぶない！」を探そう



For elementary school safety materials



さっそく、写真を撮りに行こう！

Let's GO!

1-1) ②小学生向け安全授業



2020
12 16
水曜日



みつけた「あぶない！」を共有しよう



For elementary school safety materials



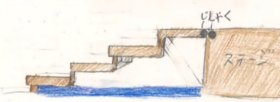
タイトル **皆だん 接着ししゃく**



その場所があぶないと思った理由
固定されていなくて、ずれると落ちてしまうかもしれないと思ったから。

名前: [redacted]

あぶない場所を安全にするためのアイデア
(イラストでかいてみよう)



アイデアの説明 (工夫した点など)
かいた人とステーションにじしゃくを入れてくっつけ替えて落ちてもあぶなくないようにマットをひきます。
場所が狭いときに1はすして使えるようにじしゃくにしました(工夫した点)

タイトル **あぶないカーペット**

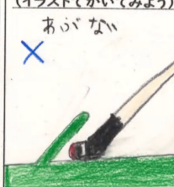


その場所があぶないと思った理由
カーペットみたいなところで走るとこけることがあるかもしれないから。

あぶない場所を安全にするためのアイデア
(イラストでかいてみよう)

あぶない

×



あぶなくない

○



アイデアの説明 (工夫した点など)
緑のカーペットを平らにしないとこけてしまう。こけないためにはせちかくで固定する。

1-1) ②小学生向け安全授業

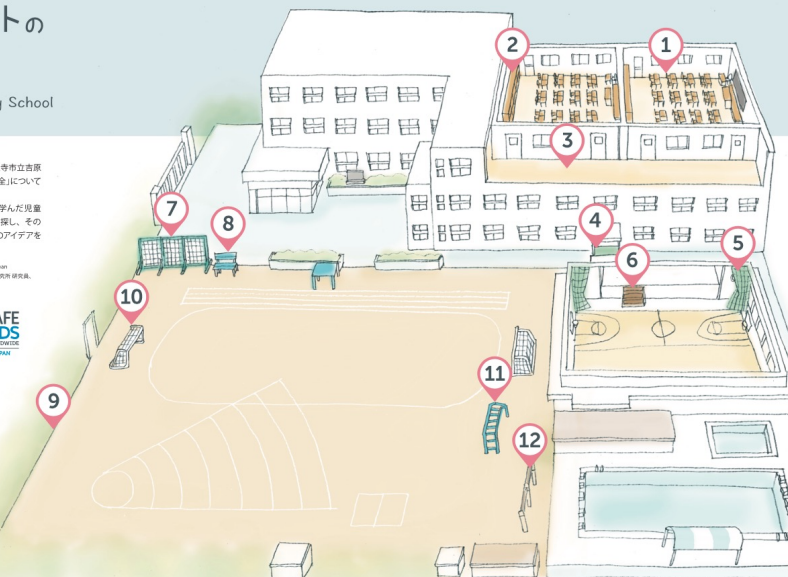
事故と ヒヤリハットの 危険地図

Yoshiwara Elementary School

2020年11月から12月にかけて、普通寺市立吉原
小学校5年生は、3回にわたり「学校の安全」について
考える学習を行いました。

この地図は、「学校の安全」について学んだ児童
たちが自ら吉原小学校の「あぶない!」を探し、その
「あぶない!」を安全な環境に変えるためのアイデアを
イラスト化したものです。

企画制作：子ども安全ネットがけ、NPO法人 Safe Kids Japan
協力：大野美幸子（公益財団法人 東京都立総合教育センター 総務課）
NPO法人 Safe Kids Japan 監修



みんなが見つけた「学校のあぶない!」と、その解決策

2 あぶない 前の真セットの椅子が床に出ていて、足に引っかかる アイデア ロッカーに引き出しを付けて、中身が外に飛び出さないようにする	3 あぶない かげょうが床やうらに落ちていて落ちてしまう アイデア 壁を黒板にして、かげょうではなく、絵や習字をマグネットではる	4 あぶない 砂場としりマットのほしに引っかかって転びそうになる アイデア マットのほしを掃除機で固定する
6 あぶない 体育館にあるネットに足が引っかかって転んでしまう アイデア ネットを上の方に留めておく	7 あぶない 強い風が吹くと校庭に置いてあるフェンスが倒れて下敷きになるかもしれない アイデア 倒れない時や強い風の時は小さくするフェンスを脱着する	8 あぶない ベンチの座るところや背たれところの前で倒れてけがをしそう アイデア ベンチはシリコンやゴム足などを作り、角を丸くしたりせき止めを造ったりする
9 あぶない フェンスが壊れて針金が出てしまい、指に刺さったりする アイデア 針金にセンサーが入っていて、人が近づくとスッと引っ込む	10 あぶない ゴールキーパーがボールを止めようとしてゴールポストにぶつかりそうになる アイデア ゴールポストやクロスバーにカバーを取り付け、ぶつかってもけがをしないようにする	11 あぶない うんていから落ちてけがをする アイデア 落ちそうになったらクッションが飛び出してきて、落ちててもけがをしないようにする
12 あぶない てつぼうがグラグラしていて危ない アイデア グラグラしているところにぎんようカバーを付ける		

2021年2月発行 / 「子ども安全」 / 大野美幸子（公益財団法人 東京都立総合教育センター 総務課） / この冊子は、普通寺市立吉原小学校の児童により作成されました。

1-2) 資料作成

「4才までは4つに切って」ミニトマトとぶどうのシール



4才までは4つに切って



ミニトマトや大粒のぶどうのようにつるつるした球形のものは、
のどの奥にスルっとはまりこんで呼吸ができなくなることが
あります。

お子さんにミニトマトや大粒のぶどうを食べさせるときは、
4才までは、「縦に」4つに切ってあげましょう。

SAFE
KIDS
WORLDWIDE
JAPAN



くわしくはこちら

1-2) 資料作成

子どもの傷害予防カレンダー 2021

自転車の転倒による
重大な傷害を予防するために

- ✓ 子どもも保護者も自転車乗車時は必ず専用のヘルメットを着用する。
- ✓ ペダルなし二輪車に乗るときも、ヘルメットを着用し、ひじやひざにプロテクターを付ける。



ベランダなど高所からの転落を予防するために

- ✓ どのようなデザインの柵であっても、子どもはベランダの柵を乗り越える可能性があることを知っておく。
- ✓ 子どもがひとりでベランダに出ることのないよう、窓の高い位置に補助的な鍵を取り付ける。
- ✓ しつけのために子どもをベランダに出すことはしない。



1-4) シンポジウムの運営

これで防げる 学校体育・スポーツ事故
～安全なサッカー・ヘディングの指導で関連事故から子どもを守る～



日時 2021年3月27日(土) 14:00～17:00
会場 Zoomウェビナーによるオンライン開催
定員 500名(当日参加申請をして頂いた方から先着順となります)
対象 学校教員、自治体関係者、スポーツ指導者、その他本テーマに関心のある方
プログラム

- ①サッカー中のヘディングに関する傷害について
JSCのデータ分析・シミュレーション結果から
北村光司 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター)
- ②海外におけるヘディング規制の背景と最近の動向について
石堂典秀 (中京大学スポーツ科学部 教授)
- ③中体連アンケート分析結果報告
菊山直幸 (公益財団法人日本中学校体育連盟 参与)
金剛廣長 (愛知県弁護士会 弁護士)
柳川豊 (愛知県弁護士会 弁護士)
- ④安全なヘディングの指導方法について
1) 動作分析から見る危険なヘディング・安全なヘディングとその指導方法
2) 田利弘 (医療法人社団 健育会 竹川病院 理学療法士)
2) 各講と具体的な提言
- ⑤ディスカッション
質疑応答

参加方法

開始時間となりましたら下記よりご参加ください。

①Zoomウェビナーへ直接アクセス



左記コードを
読み込んでも
アクセスできます。

②NPO法人 Safe Kids Japan のホームページよりアクセス

<https://safekidsjapan.org>

NPO法人SafeKidsJapanで検索の上アクセスして
いただき、シンポジウム専用ページをご確認ください。

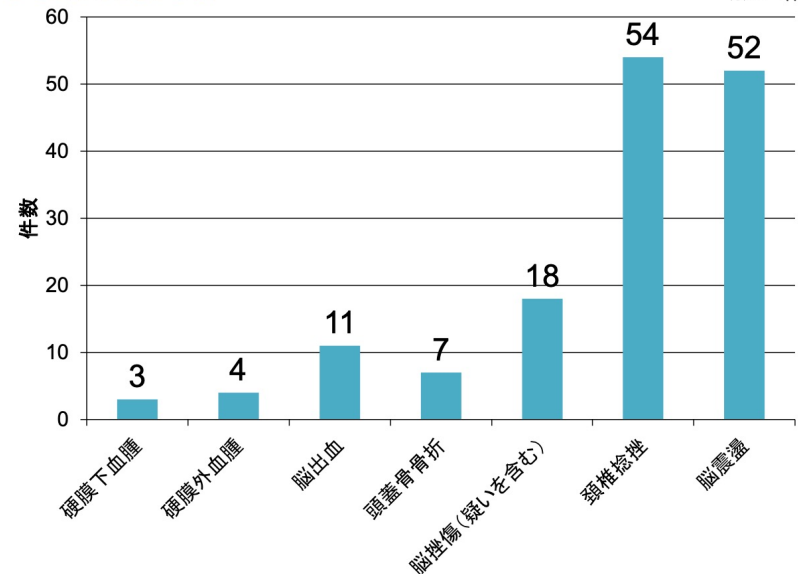
※事前に<https://zoom.us/download>よりアプリケー
ションをインストールしていただくこととスムーズにご参加
いただけます。

パソコンの方は「ミーティング用Zoomクライアント」
スマホの方は「Zoomモバイルアプリ」

ヘディング時の頭部・頸部の重症事故： 負傷別件数



※の件数



1ー5) 取材対応・協力

1) テレビ局からの依頼

- ・ベランダからの転落死亡事故について
- ・ぶどうによる窒息死亡事故について
- ・CDR（チャイルド・デス・レビュー）について
- ・節分行事の豆による窒息死亡事故について 他

2) 新聞社からの依頼

- ・浴槽における溺れについて
- ・ステイホーム中の子どもの安全について
- ・屋内および屋外における子どもの安全について
- ・祖父母に子どもを預ける際の傷害予防について
- ・店舗等に設置されている消毒液が子どもにかかることについて 他

3) その他、雑誌やウェブメディア等からの依頼

- ・小さなおもちゃによる誤嚥について
- ・ステイホーム中の家の中での安全について
- ・としまえん水上遊具による事故について 他



毎日新聞
2020/7/25

くらしナビ・ライフスタイル

子供を車に放置、なぜ

暮らし・学び・医療 | 家族・子育て | 朝刊くらし面

毎日新聞 | 2020/7/25 東京朝刊 | 有料記事 | 1667文字



子供の車内置き去りを予防するための対応策を紹介するポスター＝NPO法人Safe Kids Japan提供

子供を車内に置き去りにして熱中症などで死なせてしまう事案が毎年のように繰り返されている。茨城県では6月、在宅勤務中だった父親が2歳の娘が車内にいることを忘れて放置し、死亡させた。ネット上では「子供を忘れるなんて信じられない」という非難の一方で「あり得ないとは言えない」「ヒヤリとした経験がある」などという投稿が相次いだ。痛ましい死を防ぐ手立てはないのだろうか。背景を探った。

共同通信 (47 NEWS)

共同通信47 NEWS
2020/10/5

47 NEWS

子どもの事故死どう防ぐ？

専門家「環境整備、具体的に」

2020/10/5 07:00 (JST)

©株式会社全国新聞ネット



4歳の男の子の命を奪ったのは、たった一粒のブドウだった。喉につまりやすい食べ物と言えば、お餅などを思い浮かべる人が多いかもしれないが、実はこれまでにブドウやピーナツ、ミニトマト、白玉団子などで子どもの死亡事故が起きている。食べ物以外の事故も含め、毎年約100人の子どもの死亡で亡くなっているのが現状だ。「似たような事故は、過去に何度も起きている。社会全体で具体的に事故防止に取り組まなければいけない」と専門家は警鐘を鳴らす。（共同通信＝山口恵）

朝日新聞デジタル

朝日新聞（デジタル）
2020/10/12

朝日新聞
DIGITAL

速報 朝刊 夕刊 連載 特集 ランキング ...

トップ 社会 経済 政治 国際 スポーツ オピニオン IT・科学 文化・芸能

朝日新聞デジタル > 記事

医療サイト 朝日新聞アピタル

ブドウ・ミニトマトは四つ割りに シールで子の窒息防げ

小林未来 2020年10月12日 16時08分

シェア

ツイート

ブックマーク

メール

印刷

[list](#)

0



NPO法人「Safe Kids Japan」が作ったシール= 同法人提供

ミニトマトや大きなブドウは四つ割りにして――。子どもの事故予防に取り組むNPO法人「Safe Kids Japan（セーフキッズジャパン）」が、窒息事故の注意を呼びかけるシールやチラシを作った。生産者や流通業者などに、商品や店頭に表示して使ってもらうことを想定している。

京都新聞

京都新聞
2020/11/20



乳幼児窒息防止 食品にシール

向日の法人 スーパー・飲食店に導入呼び掛け

4歳まで多く発生 「4等分」促す

消費庁の報告では、2010～14年の5年間で発生した14歳以下の食品による窒息死103件のうち、8割が0～4歳児だった。多くは団子やゼリーの菓子やブドウなどの果実だった。

「さくらんぼ」と連携して子どもの傷害予防に取り組むNPO法人「セーフキッズジャパン」(東京都によくと、球状でつるつるとしたブドウなどは、直径約4センチしかない子ども(3歳児)ののどの奥にはまりこみやすく、呼吸ができなくなる可能性があるという。同法人は、家庭や保育現場に事故を防ぐ対策を伝えるため、シールを作ることにした。シールも直径4センチで作り、ミニトマトとブドウが縦に4等分されたイラストに「4才までは4つに切って」と添えた。掲示できるようにチラシも作成し、同法人公式ホームページでダウンロードできる。

リバティ長岡店は10月か

「さくらんぼ」は「4等分するのは手間だが、難しくはない。乙訓地域で悲しい事故が起きないように多くの人に賛同してもらいたい」としている。問い合わせはさくらんぼ事務所(950)0153。(梶原蓮葉)



「4才までは4つに切って」と記されたシールを貼るリバティ長岡店の池上さん
(長岡京市長岡2丁目)

乳幼児の食品による窒息事故を防ぐと、向日市の一般社団法人「いんふぁんと・おもちゃくらんぼ」が、食品パッケージに注意を促すシールを貼る取り組みへの賛同を呼び掛けている。地域のスーパーや飲食店に導入してもらい、「子が親の目の前で苦しんでも救えない事故を未然に防ぎたい」としている。

朝日新聞withnews

朝日新聞withnews
2021/2/2

2020年4月、子どもの事故予防地方議員連盟と共同で日本ピーナッツ協会に要望書を提出。6月、同協会から所属事業者宛にこの要望書が送付された。

連載

withnews

2021/02/02

みんなの感想

#4 #今さら聞けない子どもの安全

節分の豆、袋に表示された“警告、「死亡事故、二度と起こさないで」

NPOの要望、メーカーがすぐに応える



豆の代わりに丸めた新聞紙をまいて節分の行事をする幼稚園児（2020年2月3日朝日新聞から）。withnews編集部内の記者の子どもたちの通う園でも新聞紙を活用している。

朝日新聞withnews

業界大手の「でん六」がパッケージの表記を変更！



商品のパッケージに下記の記載を要望。

- 「4歳未満の子どもには、豆は食べさせないでください」と大きな文字で記載してください。
- 「子どもが泣き切った後や驚いたときなど大きく息を吸い込んだときに、口内にある豆が気管に入ります。子どもが泣いているときは、豆を食べさせないでください」と小さな文字で記載してください。

聖教新聞

聖教新聞
2020/8/16

(日刊)

(第三種郵便物認可)

聖教新聞

2020年

暮らしのアンテナ

FOR DAILY LIVING

きょうのテーマ

屋外での子どもの事故を防ぐ

道路上や駐車場などの子どもの事故は、保護者が気を付けていても起こってしまいます。今回は、小児科医でNPO法人「Safe Kids Japan」の理事長を務める山中龍宏さんに、屋外での事故を防ぐための心掛けについて聞きました。

NPO法人 Safe Kids Japan 理事長

山中 龍宏さん

自動車内ではチャイルドシートを使用

屋外での事故の代表例として、交通事故が挙げられます。道路の上での事故予防であれば、子どもが物心つく頃から自動車の怖さを教え、左右をよく確認してから横断歩道を渡るよう習慣づけましょう。

子どもを自動車に乗せる場合は、チャイルドシートを必ず使用してください。道路交通法により、6歳未満の乳幼児はチャイルドシートの使用が義務付けられています。現在、6歳未満の使用率は約70%。1歳未満の使用率は90%近くあるにもかかわらず、5歳に至っては、半数程度に下がってしまいます（警察庁・日本自動車連盟「チャイルドシート使用状況全国調査2019」）。

チャイルドシートを使わないで保護者が抱っこしたり、大人用のシートベルトを着用したり、チャイルドシートのベルトをせず着座したりする場合は、事故が起こった時に重傷を負ってしまいます。子どもが泣き続けると、やむを得ず抱っこしたり、チャイルドシートを嫌がってシートにそのまま座らせたりすることがあるかもしれません。しかし、チャイルドシート不使用の場合の致死率は、適正使用している人に比べ10倍以上といわれています。後悔しないためにも、子どもが嫌がってもチャイルドシートをするようにしてください。

さらには、シートベルトの締め付け不足だったり、ハーネス（子ども用ベルト）の調節が高すぎたり低すぎたり、ねじれていたり、半数以上が誤った取り付け方や座らせ方をしています（同調査）。

そうした不具合があると、事故時に、チャイルドシートがシートベルトから外れてしまったり、子どもを守ることができません。これを機に、チャイルドシートの取り付け方や座らせ方を、取扱説明書で改めて確認してみてください。

また、車内での熱中症にも注意を。『寝ているから』『短時間だから』と車内に放置するのは、絶対にやめてください。残念ながら、うっかり子どもを降ろし忘れ、子どもが熱中症で死亡してしまう事例もあります。

置き去り防止策として、例えば、保護者のバッグやスマートフォンなどの必需品を後部座席に置いておくと、降車時に後部座席の子どもに気付くことができます。『うっかり』を避けるために、こうした工夫をしてもいいでしょう。

自転車ではヘルメットをかぶる

子どもを自転車に乗せる場合、必ずヘルメットを着用させましょう。その上で、正しい乗り方をすることが大切です（7面に別掲）。

抱っこひもは、子どもの顔が見えるので人気ですが、抱っこひもは、転倒して子どもが頭を打ち、亡くなってしまうケースもあります。おんぶが認められているケースもありますが、子どもを守る視点でいえば、懸けたいところです。抱っこもおんぶも、自転車が転倒すると、保護者の下敷きになることもあるため、大変に危険です。

溺れ防止にライフジャケットを

夏になると、例年であれば、プールや川、海水浴場が人気を集めます。しかし、海でも川でも、溺れる事故は毎年起きています。川は浅瀬から急に深みになったり、海であれば、岸から沖へ向かう強い水流の離岸流があったりします。

そのため、泳いだり水辺で遊んだりする時は、大人も子どももライフジャケットを着用する。10歳程度までは、友達同士で海や川で遊ばない、といったルールを家庭内で設けるといいでしょう。

家族でルールを設定

夏になると、例年であれば、プールや川、海水浴場が人気を集めます。しかし、海でも川でも、溺れる事故は毎年起きています。川は浅瀬から急に深みになったり、海であれば、岸から沖へ向かう強い水流の離岸流があったりします。

そのため、泳いだり水辺で遊んだりする時は、大人も子どももライフジャケットを着用する。10歳程度までは、友達同士で海や川で遊ばない、といったルールを家庭内で設けるといいでしょう。

抱っこはNG

子どもを自転車に乗せる場合、必ずヘルメットを着用させましょう。その上で、正しい乗り方をすることが大切です（7面に別掲）。

抱っこひもは、子どもの顔が見えるので人気ですが、抱っこひもは、転倒して子どもが頭を打ち、亡くなってしまうケースもあります。おんぶが認められているケースもありますが、子どもを守る視点でいえば、懸けたいところです。抱っこもおんぶも、自転車が転倒すると、保護者の下敷きになることもあるため、大変に危険です。

ひよこクラブ

ひよこクラブ 2020年9月号

今月のテーマ

小さいおもちゃ の誤えん・誤飲

大野美恵子 先生
NPO法人Safe Kids Japan 理事
国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究
センター研究員。科学的な観点から子どもの事故のメカニ
ズムや事故予防について研究。2人のお子さんのママ。

今、話題のあれこれを取材!

子育て TOPICS

赤ちゃんが小さなおもちゃを誤えん・誤飲すると、窒息する恐
れがあります。この夏はとくにおうちで遊ぶ機会が多いと思
うので、身近なおもちゃの危険について知っておきましょう。

イラスト 福士陽香 デザイン store inc.



39mm×51mm以下の小さなおもちゃは 赤ちゃんの手の届かないところへ

部品が欠けていないか、壊れていないかも確認を
誤えんとは、口に入れたものが空気の通り道である気道内に入ることで、誤飲とはおもちゃなど（食べ物以外）を誤って飲み込み、胃の中に入ってしまうことをいいます。赤ちゃんの気道内に小さなおもちゃが入ると、時に窒息し、短時間で命の危険にさらされることも。赤ちゃんの事故に詳しいNPO法人Safe Kids Japan 理事の大野先生にお話を聞きました。

「トイレットペーパーやラップの芯を通るおもちゃは、赤ちゃんの口に入ると危険です。そのような口に入るおもちゃは、乳幼児には身にならないようにしましう。きょうだいがいるおうちでは、上の子のおもちゃもあるので予防が難しいと思います。わが家は上の子が5才、下の子が1才なのですが、上の子に小さなおもちゃを渡すときは、必ず大人が見守れるようにしています。上の子に渡したおもちゃは下の子に渡したダメよ」と事前に声かけしています。

誤えん・誤飲予防には、おもちゃの置る場所にもポイントが。小さいものは下の子の手が届かない場所で保管します。わが家の場合は、安全ゲートを設置したキッチン内。小さいおもちゃで上の子が遊ぶときも、部品がなくなっていないか、壊れていないかなど、意識して見るようにしています。おもちゃを片づける際に、確認する習慣をつけておくといいかも。それまじん、万が一、おもちゃを口に入れた疑いがあったとき、何を口に入れたか親がすぐにわかること大事です」

過去には、スニーカー、水風船、まぐと用の木製おもちゃ、人形に付属するおしやぶりなどで事故が起こっています。「とくに6〜20mmの大きさのものが危険。赤ちゃんはおもちゃとそれ以外のものの区別ができていないので、日用品などにも気を付けましょう。とくにボタン電池や乾電池などは飲み込むと重症化しやすいので、赤ちゃんの手が届かないところで管理をできれば、危険なものは見せないようにすることが大切です」

3才を過ぎると誤えん・誤飲のリスクは減ってくるそうですが、個人差があるため年齢では区切れないとのこと。一度おうちの中にあるおもちゃを全て確認し、保管方法を考えてみてください。

実際の事故事例は
NPO法人
Safe Kids Japanの
ウェブサイトをチェック
<https://safekidsjapan.org/>

知っておこう 年齢別 子どもの手はどこまで届く?

A	B	
台の高さ	手の届く範囲	=
		1才 90cm
		2才 110cm
		3才 120cm

仮に高さ90cmの台があるとします。1才の場合、台の手前から30cmのところまで、2才の場合、手前から50cmのところまで、手が届いてしまうことになります。

※子どもにより個人差があります。



政府インターネットテレビ

政府インターネットテレビ
2021年2月26日公開



お心当たりありませんか？『子どもの転落事故』に気を付けて！

An infographic titled '子ども(9歳以下) 建物からの転落による死亡事故' (Child (under 9 years old) Death accident due to fall from building). It features an illustration of a child falling from a balcony. The text states '※令和元年 厚生労働省人口動態統計より' (From the 2019 Ministry of Health, Labour and Welfare Population Dynamics Statistics). The number '37件' (37 cases) is prominently displayed in large red characters, with '(平成26年～30年)' (Heisei 26 ~ 30) below it. The source 'NPO法人 Safe Kids Japan 提供' (Provided by NPO法人 Safe Kids Japan) is noted. At the bottom, it says 'お心当たりありませんか？『子どもの転落事故』に気を付けて！' (Do you have any idea? Please be careful of 'child fall accidents'!). The background of the infographic shows a balcony with a green artificial turf mat and a white air conditioning unit.

あしたの暮らしを動画でもっとわかりやすく
政府インターネットテレビ

トップに戻る > English

子ども(9歳以下)
建物からの転落による死亡事故
※令和元年 厚生労働省人口動態統計より

37件
(平成26年～30年)

NPO法人 Safe Kids Japan 提供

お心当たりありませんか？『子どもの転落事故』に気を付けて！

-
- The diagram shows a blue U-shaped component with a radius of 50mm, indicated by a dashed line and an arrow. Below it is an orange circular component with a diameter of 50mm, indicated by a dashed line and an arrow. Both components are shown with dimension lines and arrows indicating their respective measurements.



その他目的を達成するために必要な事業

「第2回 子どもの傷害予防 全国ネットワーク会議」・・・傷害予防活動を実践する仲間が一堂に

団体名	タイトル	概要
子ども安全ネットかがわ	善通寺市立小学校5年生への安全授業	善通寺市の小学校5年生を対象に行った安全授業の内容（①傷害予防の基本②学校の危ないを見つけよう③成果発表）と実施した感想、成果物をまとめたリーフレットの作成について報告します。
公益社団法人 日本技術士会登録 子どもの安全研究グループ	エンジニアリングで子どもの傷害を予防する	本会は、科学技術の専門家である技術士（エンジニア）の有志により、2009年に設立されたボランティアの研究グループで、その目的は「広範なエンジニアリングの知見を活用して子どもの傷害を防止すること」です。本会は、具体的な傷害（事故）事例を調査分析し、製品・環境をより安全なものとする対策を検討するとともに、子どもの安全の基本的な国際規格である「ガイド50」にも取り組んでいます。会議では、「ガイド50」に出てくるいくつかの象徴的なフレーズ（子どもは小さな大人ではない、など）についてもお話ししますので、グループディスカッションの参考にしていただければ幸いです。
NACS 標準化を考える会	子ども服の安全性の向上	子ども服に付いている、フードやひもが何かに引っかかり事故につながる危険性について、情報提供および啓発を行っています。2015年に子ども服のひもの安全基準（JISL4129）が制定され、店頭では基準を逸脱した子ども服は減少しましたが、一方インターネットのフリマアプリや手作り子ども服に、危ないひもの付いた複数の製品を確認しました。子どもを怪我や事故から守る為に、SKJと協働しプラットフォーム等に働きかけている活動を報告します。
吉川慎之介記念基金	ライフジャケット検討委員会報告書と西条市の取組に関する報告ー地域に根差した子どもの安全啓発活動について	2020年、ライフジャケット検討委員会を発足し子どものライフジャケットに関する現状について検討し提言をまとめました。西条市では事故の教訓をいかす取組としてライフジャケットのレンタルステーション事業を2018年からスタート。昨年から、西条市長認定「子ども安全管理士講座」が長崎県大村市に続く形で開講しています。民間・自治体レベルでの子どもの安全に関する取組の一例としてご報告をさせていただきたいと思います。

その他目的を達成するために必要な事業



「聞かせてください」・・・市民からの情報提供による予防活動の検討・実践：**市民サイエンス**

- ・ 熱中症
- ・ 誤嚥
- ・ 化学物質
- ・ スーパー陳列棚のフック
- ・ 公園のフェンス
- ・ 砂場の囲い
- ・ 学童保育室内の転倒
- ・ 交通事故
- ・ ブロックによる裂傷
- ・ ベッドメリーによる傷害



- ・ 再現実験
- ・ 画像検証
- ・ 専門家による分析・検討



予防策の提案・実践

その他目的を達成するために必要な事業

水上設置遊具に関するガイドライン

 経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

申請・お問合せEnglishサイトマップ本文へ文字サイズ変更 小 中 大アクセシビリティ
閲覧支援ツール

ニュースリリース会見・談話審議会・研究会統計政策について経済産業
について

ホーム ▶ ニュースリリース ▶ ニュースリリースアーカイブ ▶ 2020年度12月一覧 ▶ 「水上設置遊具の安全に関するガイ
ドライン」を策定しました

「水上設置遊具の安全に関するガイドライン」を策定しました

2020年12月25日

▶ ものづくり/情報/流通・サービス

経済産業省は、近年発生した水上設置遊具に係る消費者事故を踏まえ、関係事業者が取り組むことが望ましい事項を示した「水上設置遊具の安全に関するガイドライン」を策定しました。

1. 経緯

令和元年8月、「としまえん」のプール遊具において、8歳女児（当時）の溺水死亡事故が発生しました。これを受け、同年11月から消費者安全調査委員会による原因調査が実施され、令和2年6月、同委員会から経済産業大臣に対して、再発防止策を求める意見具申がなされました。
経済産業省では、有識者等をメンバーとする検討会を開催し、この度、「水上設置遊具の安全に関するガイドライン」を策定しました。

2. ガイドラインの概要

本ガイドラインでは、主に、水上設置遊具によるサービス提供の際（運営時）において、関係事業者（遊具メーカー、販売業者、サービス提供事業者、サービス提供が行われる施設管理者等）が取り組むことが望ましい事項を示しています。
具体的には、事業者間の情報共有、水上設置遊具の設置場所、遊具の選定、安全管理体制の整備、緊急時の対応、再発防止等について示しています。